

かがわ畜試情報

発行所 香川県畜産試験場
香川県木田郡三木町下高岡2706 〒761-0704
TEL 087-898-1511 FAX 087-898-9416
発行者 川原 徳彦
発行 平成11年10月 第17号



育成豚舎

「讃岐黒豚」育成豚舎の完成

当場では年次計画に基づき、施設の整備を行っていましたが、この度、育成豚舎が平成十年年度事業で完成したのでその内容を紹介します。

施設の概要は鉄骨平屋建て、三三二・二七坪で二〇豚房で子豚一六〇頭程度収容できます。

育成豚舎の利用目的は、本県特産の「讃岐黒豚」の銘柄化を推進するため、場内で生産された雌乳子豚を衛生対策に配慮した快適な環境で子豚育成し、讃岐黒豚等優良種豚を安定供給するとともに後継種豚の育成や品質向上等の効率的な試験研究を行い、本県養豚の振興を図ることとしています。

豚舎の特徴として、健康で発育の良い子豚の育成を阻み、以下の三点に配慮し整備をしました。

①衛生対策面で三部屋独立豚舎構造で天井を設け、子豚の発育ステージに見合った温度管理や感染防止を阻みとした豚房に仕切板を設けました。

また、細菌消毒装置(トリートメント)により、衛生的な環境を保つ設備としました。

【畜産ミニ情報】 香川県の飼養頭羽数・戸数

乳用牛	9,090 頭	280 戸
肉用牛	24,000 頭	630 戸
豚	46,800 頭	80 戸
採卵鶏	6,110 千羽	190 戸
ブロイラー	1,672 千羽	77 戸

H11.2月



気化冷却装置で涼しい夏

②暑熱対策面では屋根、断熱に断熱材入りガルパネニューム鋼板で暑さを遮るとともに、水の気化熱を活用して豚舎内の温度を下さす豚舎内冷房装置(クーリングパッド)の設置により夏場対策に万全を期しています。

③管理面では自動除糞装置(スクレーパー)により定期的に除糞を行いアンモニア等悪臭の軽減に努め豚舎の快適環境の維持に努めるとともに、場内で汚水処理した再利用水を活用した高圧洗浄装置により豚舎の効率的な水洗、洗浄が可能となりました。

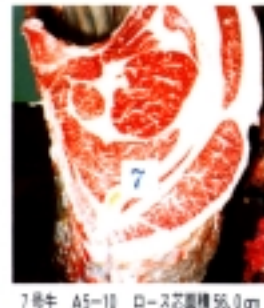
この育成豚舎ですくすく育った種豚が県内養豚場で、讃岐黒豚や養豚活性に大いに活躍、貢献できるように願っています。

本場における既間接検定成績

区分	梅茂	金広	肥馬1	照茂	照光	谷幸	眞重一八
実施年度	昭和56年 4月~	昭和59年 2月~	昭和61年 2月~	昭和62年 3月~	平成3年 6月~	平成7年 5月~	平成10年 9月~
供試頭数(頭)	9	7	8	8	8	8	8
開始時体重(kg)	266.4	219.9	234.5	219.1	185.4	276.2	228.3
終了時体重(kg)	530.1	486.4	483.9	513.6	442.7	575.4	526.2
一日平均増体量DG(kg/日)	0.73	0.73	0.68	0.81	0.71	0.82	0.81
枝肉重量(kg)	324.5	298.0	295.5	315.0	259.7	326.9	309.0
ロース芯面積(cm)	48.0	43.0	45.0	47.0	41.0	40.0	44.0
皮下脂肪(cm)	1.7	0.9	1.0	1.3	1.3	1.5	1.4
脂肪交雑	+3.1	+3.5	+3.4	BMS2.2	BMS2.1	BMS2.1	BMS2.2
枝肉格付	極上3頭 上3頭 中3頭	特選3頭 極上1頭 上3頭	特選3頭 極上2頭 上3頭	A-53頭 A-44頭 A-31頭	A-53頭 A-44頭 A-31頭	A-54頭 A-42頭 B-41頭 A-31頭	A-52頭 A-46頭

平成八年六月より本場で繁殖している黒毛和種種雄牛(眞重一八)号の産肉能力検定(間接法)が去る平成十一年九月三日(三六四日間)に終了しました。一日当たり平均増体重〇・八一kg、平均枝肉重量三〇九kg、平均ロース芯面積四四cm²、平均脂肪交雑基準値(BMS)二・二、上物率(A4以上)は一〇〇%でした。

産肉能力検定中のTDN要求率は六・〇六kgで、飼料効率は良い結果でした。



7号牛 A5-1B ロース芯面積56.0cm

肉質改良に期待!! 好成績!「眞重一八」間接検定

また終了時体重が四一七・七kgから六二六・三kgとばらつきがありました。

以上の結果により、「眞重一八」号は若く小さいながら、交配する牛を選ばず上位に安定した肉質が期待できます。なお終了時の供試牛の審査から、背や後脚が強い牛への交配をお勧めします。

県有種雄牛「金福」号 「讃岐金福」号へ改名

平成十年六月より本場で飼養している「金福」号が「讃岐金福」号にこの日より改名されます。

この「金福」という名称は、全国で多く用いられていることから社団法人全国和牛登録協会より改名の依頼がありました。

これを受けて、県内の畜産関係機関で協議の結果「讃岐金福」と改名しました。

これに伴い、人工授精の際には名称を確認のうえご利用ください。

みんなの夢をのせて 「讃岐黒豚」発進!

当場では、平成六年度から英国産パークシャー種いわゆる「黒豚」を利用した特産豚肉「讃岐黒豚」の開発を始め、普及・推進について積極的に取り組んでいます。

しかしながら、黒豚の表示について、今年六月に農林水産省が「パークシャー種純粋種に限る」と決定したのを受け、七月に協議会を開催し、新名称を「讃岐黒豚」に決定しました。

また、推進母体も同様に「讃岐黒豚」及び推進協議会として発足しました。

「讃岐黒豚」はパークシャー種の血統割合が五〇%以上の交雑種で大麦を給与し肉質を向上させたもので、「讃岐黒豚」はパークシャー種純粋種といった二種類のブランドができました。

「讃岐黒豚」については、八月三日には消費者代表や関係者が料理講習会と試食会に集い、おいしい「讃岐黒豚」の料理が披露され、続いて五日からは新しい表示で県内の店頭販売が専門店、スーパーで開始されています。

皆さんもご家族で、「讃岐特産のおいしい「讃岐黒豚」を是非、食べてみて下さい。



讃岐黒豚

乳用牛の暑熱対策について

昨年年度に引き続き四国四県共同で夏期暑熱対策に関する試験を実施しています。昨年までは、暑熱に対する生理反応について当場の搾乳牛を用いて調査し、ストレス開始温度が判明しました。そこで、今年度からこの温度を指標とした暑熱対策試験を実施しています。

試験で用いている暑熱対策方法は「ダクト気化冷却装置」で、九州農試が開発された気化冷却装置を改良し、より現場での使用考慮したものとした。簡単に説明すると、ダクト送風と細霧を組み合わせた装置で、細霧時には冷却した風を送り、停止時には牛体について水を気化させ体温の上昇を抑えることができます。この装置により、気温が約三から四度低くなり、牛体の皮膚温度も低くなりました。

産量、乳量等で多少の違いはありますが、大まかにストレス開始温度は、呼吸数増加が体温で二〇℃前後から、平均体温上昇が二二・五℃前後からだと判ったので、体温が二〇℃を越えた時点でダクト送風開始、二二・五℃を越えた時点で細霧を開始するようにし、細霧三〇秒、停止九〇秒、ダクトは連続運転としました。

効果については取りまとめ中ですが、この装置の効果を最大限発揮できるように、さらなる改良が必要であると思われる、来牛以降も細霧の粒子の大きさ、ポンプ圧力の検討と併せて、農家段階での実証試験も実施していく計画です。



※体温とは、気温に湿度を考慮した温度で、乾球温度に四五%、湿球温度に六五%重みを付けた牛が感じる温度。
 体温温度＝〇・四五×乾球温度＋〇・六五×湿球温度

※平均体温とは、直腸温度に体熱放射の程度を示す皮膚温度を加味した指標で、牛体四ヶ所の平均皮膚温度に一四%、直腸温度八六%重みを付けた体温。
 平均体温＝〇・一四×平均皮膚温度＋〇・八六×直腸温度

※試験に用いた細霧装置概要
 粒子の大きさ 約三〇ミクロン
 ポンプ圧力 約二〇kg/cm²
 水使用量 約一四リ/日
 ノズルの高さ 約二一cm

表1 体温温度と呼吸数との関係

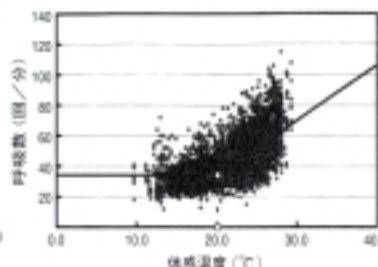
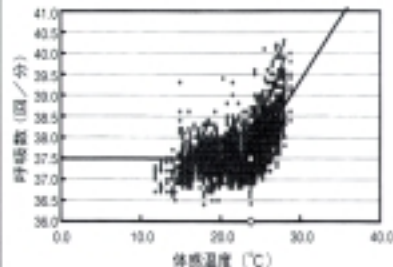
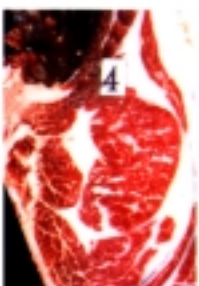


表2 体温温度と平均体温との関係



醬油粕給与による肥育試験



試験区4号牛の肉内(B4-8)

醬油粕とは、大豆、小麦および食糧を原料としたもろみを発酵させ、醬油を醸造する際の副産物です。県内では小豆島において醬油製造が盛んですが、県内の醬油製造過程で生ずる醬油粕の量は年六六〇〇トンです。現在醬油粕は、産業廃棄物として処理業者による処分や焼却処分がなされておられ、その処理に膨大な経費がかかっています。

一方、畜産物の生産でコストがかかるのは飼料費です。日本の畜産物生産の場では輸入飼料の高騰、安い輸入牛肉との競合などから価格競争を余儀なくされているため、安くても質の良い飼料の確保が重要になってきています。そこで県では、醬油粕を家畜の飼料資源として利用する技術を開発し、醬油粕と畜産物の連携により醬油粕の処理問題の解決と畜産業における安価な飼料資源の確保を図ろうと試みています。

但し、醬油粕は現在配合飼料に使われている粕類と比べて食塩濃度が高くなり高く、また水分を十数%多く含むので、そのままでは飼料として利用できません。そこで当場は単発飼料試験場に醬油粕から水分および塩分を除いた脱塩醬油粕を試作していただき、黒毛相模去勢牛を用いて、試

験区に脱塩醬油粕(全給与飼料中の八・〇%)を給与、対照区には普通の飼料を給与することににより、肥育試験を行いました。

その結果、対照区と比較し、試験区では体重、体高等の発育において同じあるいは若干良い発育が見られました。屠殺解体後の成績をみると、販売価格においても、対照区、試験区に個体間のばらつきは見られましたが有意な差は認められず、同程度の成績でした(表参照)。屠殺時に内臓検査を実施したところ、対照区、試験区ともに特に異常は認められませんでした。

以上のように、脱塩醬油粕を給与量の一〇%程度まで給与するのであれば、発育性、屠宰性等に影響を与えないものは、通常に肉用牛配合飼料の代替え飼料として利用できると考えられます。今後更に、脱塩醬油粕の適正な給与量の検討などをしていかなければなりません。

ソルガムを栽培しよう!



ソルガムの刈取

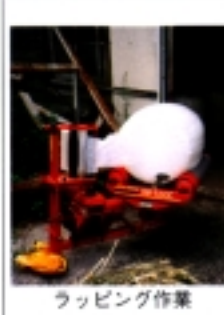
酪農・肉用農家では、生産コストの低減を図るため、自給飼料の生産は欠かせません。

しかし、最近、労働力の不足や高齢化によってトウモロコシのような手間のかかる作物の栽培は減少傾向です。

また、省力的な収穫にはロールペーラがあり、導入も進んでいます。しかし、稲葉の収獲にしか用いられていないのが現状です。

そこで、ロールペーラの効率的な利用と省力的多収、高品質の飼料栽培を目的として「ソルガムの小型ラップサイレージ調製給与技術の開発試験」を平成八年、一〇年にかけて四国四県で共同研究しました。この技術の内容は、

- ① ソルゴー型ソルガムは通常播種量の約二倍の七割/一〇を散播し、草丈二〇〇cm程度で刈り取ることで、葉が細く、柔らかくなり、小型ラップサイレージに適した草となります。また、五月下旬に播種したものを、二回刈り取り、表作(エンバク、イタリアン)の混播と組み合わせることで三八〇kg/aの乾物収量が得られます。
 - ② 原料草は、モアコンディショナで刈り取り、一日四回の反転を行い予乾することで約二〇時間でサイレージ発酵に適正な水分含量約七〇%にまで低下します。
 - ③ サイレージ調製は、原料草の水分を中水分(七〇%程度)に予乾し、ラップの巻数を三回で調製することで、ピンホールが発生がなく、九〇日間の貯蔵でも発酵品質が低下しません。
 - ④ 予乾が十分に行えず、材料草が高水分となった場合はサイレージに調製するときには干酸を添加することで酸菌の繁殖を助ぎ、発酵品質を改善します。
- この技術は、中山間地や転作水田での活用が可能です。また、小型のロールペーラばかりでなく、中型でも可能です。栽培調製をする上で留意点は、以下の四点です。
- ① 堆肥、肥料の多投は硝酸態窒素の蓄積を招く可能性があります。
 - ② 五月下旬に播種すると、収穫時期が梅雨に重ならず、二回刈りが可能で乾物収量の増加が期待できます。
 - ③ 天候の都合で予乾を十分に行えない場合は、発酵品質の保持のための添加物が必要です。
- 以上の事項に注意して、栽培・調製を行うことで粗飼料の省力的生産が可能となります。



ラッピング作業

牛受精卵移植

ホットな情報

「A5-12の体外受精卵移植」すくすくと育つ
平成十年五月二十八日、観音寺市内の肥育経営農家の出荷した和牛は、ロース芯に鮮やかなほど細かな霜を降らせ、その格付は最高のA5-12。

その卵巣から、複数の未成熟卵子を採取、体外受精させた後培養、発育した受精卵9個を作出。

そして、表に示すように乳牛へ移植、五頭のア5-12の子たちが誕生。そのうち四頭がスタスタと育ち、親の血を引くすばらしい肉を作り出すことに期待の声がかかる。

A5-12由来体外受精卵移植結果

移植日	移植先	妊否	子牛誕生	現況
10.6.4	観音寺市	+	11.3.6	発育良好
	観音寺市	+	11.3.26	発育良好
	観音寺市	+	11.3.9	発育良好
	観音寺市	+	-	発育良好
	観音寺市	+	11.1.20	発育良好
	観音寺市	+	11.3.12	発育良好
	観音寺市	+	-	発育良好
	観音寺市	+	-	発育良好
	観音寺市	+	-	発育良好
	観音寺市	+	-	発育良好

体外受精した精液牛：熱富士

これまで無駄にされていた良質な肥育雌牛の卵を効率に活用、かつ体外受精卵を各農家へ供給、テイスタイなビーフをメイキングすることは、まさにドラマチックなもの。

我々畜産試験場のスタッフは、若様に喜んでいただけるドラマの脚本家を目指します。

A5-12とは?

牛の肉質は、段階で評価され、A5-12はこれ以上ない最高級の肉質の牛肉。

助っ人参上!! スーパーカウ四天王

酪農家の若様、私たちの娘を持つてみませんか?
私たちは、受精卵移植による牛群のレベルアップ、改良促進を使命に誓って、供牛として香川県に参上しました。

香川に来てからの実績は表のとおりで、写真に写っているのが一番目の娘(平成十年八月八日生)です。



スーパーカウの娘牛

今のところ、受精卵のストック数が少なく、探求時にあわせた移植しか対応していません。これから多くの良質な受精卵をキープし、皆様のニーズに添えるべく、いつでも、どこにでも供給(凍結卵含む)できるように体制づくりを働んでいます。

いい仕事しますので、私たちを愛してください。

スーパーカウとは?

泌乳能力の非常に高い乳牛。
中には二万kg以上も乳を出す牛もいます。

スーパーカウ4頭の産べ成績

産乳量	乳中脂肪	乳中タンパク	乳中乳糖	乳中灰分
10000	3.8	3.2	4.8	0.7
9500	3.5	3.0	4.6	0.7
9000	3.2	2.8	4.4	0.7
8500	3.0	2.6	4.2	0.7

豚人工授精の達人

達人は鋭いまなざしで雌豚の外陰部、乳房を見回した。そして背腰をしきりに押したり、豚に乗ったりもする。これは、ボディアイコンディション(栄養状態)を確認することにも、発情をチェックするためである。他に発情、挙動から各項目を照らし合わせ人工授精のタイミングを回るのである。

豚の発情継続時間は三〇時間程度であるが、産期、季節等により長短する。特に、産期前は産期前二三日間持続することもある。

そして、人工授精の最速期は発情継続のピークを過ぎたころである。この見極めこそが達人に成り得るゆえんでもある。

達人は交配適期の雌豚に優しく近づくと、外陰部をアルコール綿で丁寧に拭き、滅菌したカテーテルを慎重に挿入した。尿道を避けやや上向きに進め、時計と反対回りに回転させながら子宮頸管へと導いた。この時期の子宮頸管は弾力に富み、カテーテルは豊満な弾力に覆われた状態となるのである。

達人はカテーテルの触感から状況を判断し、精液を注入し始めた。と、ともに流暢な歌を歌い始めたではないか。これは達人独自の精液注入時間に相当するものであり決して急がずと自分に言い聞かすものでもあろう。

一曲終わる頃、全ての精液は注入され逆流は見られなかった。しかし、達人はすぐには立ち去らずなおも一通り豚を観察すると機を度した。やがて達人は器具を洗浄し整頓すると、年配の入った台帳への記載を終え朝食へと向かった。

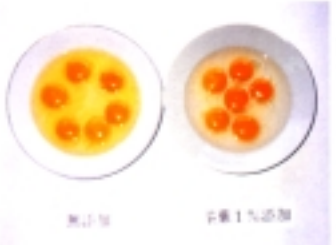
透き通った卵白

香川の特産品「讃岐コーチン」の卵が今年の四月から、スーパーなどの小売店でも販売され始めています。他の卵に比べると少し割高感もありますが、消費者の方々には、「とても美味しい」などと評判が良く、売れ行きも好調で、関係者は生産増強に向けて、日々努力しているところなのです。

さて、当場ではこの「讃岐コーチン」の卵の付加価値を高めるために、ビタミンA(カロチン)に富み、また抗菌作用や抗ウイルス作用に有効であるとされている「茶葉」を飼料に添加し、「讃岐コーチン」に併用してどのような効果があるかを調べてみました。

その結果、一定程度の「茶葉」を飼料中に与えることで、鶏は透明度の高い透き通った卵白の卵を産むことが明らかになりました。

他にも、卵黄中のビタミンA(カロチン)の増加や、卵黄色が濃くなる効果もみられました。



無添加

茶葉1%添加

一般に、鶏卵の見た目に付加価値をつけることは、なかなか難しく、この「茶葉」の給与により生産された卵が、差別化商品として、今後市場に出回ることを期待しています。

主要な流通乾草とその品質について

主要な輸入乾草としては、スーダングラス、アルファルファ、エンペ(オーフ)の四種類があげられ、これらが本県流通量の約八割程度を占めているようです。

そこで、ポピュラーな乾草四種類について、平成十年年度の分析結果を日本標準飼料成分表の標準値と比較して、表1に示しました。

表1 主要な流通乾草の成分組成と推定TDN

乾草名	粗料率	水分	CP	CF	DCP	TDN
スーダングラス(輸入乾草)	88	91.0(87.7)	8.4(8.7)	30.7(32.7)	4.5(5.0)	55.9(55.2)
アルファルファ(再生草用乾草)	86	86.8(86.9)	10.6(10.1)	27.4(28.6)	14.5(13.9)	56.7(54.5)
737(19)19-7(流通品)	89	87.1(88.2)	11.5(10.5)	28.6(30.0)	12.9(11.7)	57.1(55.0)
エンペ(オーフ)	85	87.8(88.2)	6.7(12.4)	28.4(35.2)	1.7(6.9)	54.4(55.4)

注: 上段は分析結果の平均値であり、下段は日本標準飼料成分表の標準値を示す。

最も利用量の多いスーダングラスは、粗蛋白と粗繊維が一、二%程度低いようですが、可消化養分総量(TDN)は標準値とはほぼ一致していました。

アルファルファ、エンペとヘイキープは、粗蛋白が一定程度高く、可消化粗蛋白(DCP)とTDNも標準値をやや上回る傾向があり、品質はかなり良好なものが流通していることがわかりました。

エンペは、乾物率が6%程度高いのですが、一般成分は全般的に

表2 流通乾草の硝酸態窒素含有率(乾物中ppm)

乾草名	平均値	標準偏差	最大値	最小値
スーダングラス	628.8	630.8	2469.0	8.0
アルファルファ	437.8	320.0	1438.0	28.0
737(19)19-7	391.2	364.0	1074.0	13.0
エンペ(オーフ)	71.4	106.0	399.0	4.0
チモシー	25.3	32.0	109.0	4.0
トルフェスタ	137.8	106.8	236.0	17.0
パルメーダグラス	104.5	37.0	919.0	6.0

注: 硝酸態窒素の安全基準は乾物中1,000ppm未満で、11ppm=0.001%

標準値を下回っており、TDNもやや低い傾向で、これは刈り取り期の遅れが原因と考えられます。

このように、一般成分については、エンペ以外は概ね標準値と同等か、やや良質のものが流通しているようです。

次に、主要な乾草の硝酸態窒素含有率を表2に示しました。

硝酸態窒素の心配がない乾草は、チモシー、トルフェスタ、パルメーダグラス、エンペ等があげられますが、スーダングラスは最大で二、四六九ppm程度の硝酸態窒素が含まれるものが確認されたほか、全検体のうち安全水準を超えるものが約二割程度を占めていました。

ご存じのように、流通乾草は、輸入ロットにより成分組成等が異なりますが、同一ロットにおいても、圃場が異なる場合があり、肥料等の栽培条件が同じであるとは一概に言えません。

いずれにせよ、畜産の健康や畜産物の生産性に影響が出てからでは、経営上のリスクが大きくなるので、流通乾草を購入したときは、家畜に給与する前に、成分分析を実施することをお勧めします。



フィリピンのラウルさん

今年七月より場内に小柄でやせ身の外国人が一生懸命研修を行っています。暑い日でも暑さ知らずで、よく働きます。その人こそ今年の海外技術研修員、ラウル・カピラン・コロニテスさんです。

ラウルさんは年齢三十八歳。フィリピン共和国ミンダナオ島獣医事務所勤務する牛の人工授精師さんです。ミンダナオ島はフィリピンの首都マニラから南へ飛行機で五十五分の距離にあります。

ラウルさんの研修は、主に牛の人工授精です。その他、近々ミンダナオ島で乳牛を導入する計画があるので乳牛の飼育管理についても研修を行っています。

最後に、私どもとラウルさんとの初対面の時、彼は「私は私を推薦してくださったボスの期待に応えていきたい」と言われました。その言葉のとおり今も一生懸命研修を続けておられます。ラウルさんが無事研修を終えて、母国にてその期待に応え、活躍されることを心からお祈りいたします。

一生懸命研修中です。海外技術研修員

夏は稲作水田が大部分を占めています。しかし、飼料作物は耐湿性が弱く、排水条件の悪い圃場では発育が不良です。そこで、耐湿性のある作物として飼料イネが注目されています。

飼料イネ「ホシユタカ」の飼料成分

飼料成分/乾物	精製前	発酵前	発酵後
粗蛋白質(N)	1.8	2.1	6.7
アミノ酸(N)	1.5	2.2	28.3
セルロース(N)	25.5	11.8	55.3
リグニン(N)	6.5	6.3	5.8
ヤシ酸(N)	11.6	8.5	8.8
DCP (%)	3.7	2.8	3.1
TON (%)	42.5	45.7	51.5
DCP (kg/100kg)	41.2	31.2	43.1
TON (kg/100kg)	496.1	582.1	781.3

注) 中量飼料100kg

飼料イネは子実を利用するのではなく、ホーフルクroppのラップサイレージ利用がベストで、省力的です。品種は「アケノホシ」、「ホシユタカ」等があり、一〇〇kg当たりの乾物収量は一・二〜一・七と非常に多収でトウモロコシに匹敵します。また、サイレージ過程でアルコール発酵するために嗜好性が高く、栄養価もイタリアンライグラスなどのイネ科牧草とほぼ同等です。

夏は稲作水田が大部分を占めています。しかし、飼料作物は耐湿性が弱く、排水条件の悪い圃場では発育が不良です。そこで、耐湿性のある作物として飼料イネが注目されています。



ホシユタカ出穂期

飼料イネの栽培

豆の遺伝病は、遺伝子領域の研究成果の蓄積に伴って最近知られるようになった遺伝病です。現在までに知られている病名は「バンド三欠損症」「第十三因子欠損症」及び「牛クローアイン十六欠損症」の三つです。

これらの病名は、いずれも遺伝子が欠損し、強度の貧血など血液の異常等が出産後数日で死亡、あるいは腎臓機能が損なわれることにより、数ヶ月後に死に至るなどの症状が出ます。遺伝は、おおむね劣性遺伝という遺伝の仕方をするものと見られていますが、両親の二頭が病気の因子を持っているが症状は表さない「キャリアー」と呼ばれる保因牛であれば、四分の一の確立で産まれる子が半分の確立で産まれるという確立で保因牛が生まれる。残り四分の一の確立で正常な牛が生まれるという確立である。両親のどちらか一方が「キャリアー」であれば二分の一の確立で正常な牛と「キャリアー」が生まれ、いずれの牛も症状を表すことはないと言われています。

豚にはPSSと呼ばれる遺伝病があります。これは「豚ストレス症候群」と訳されますが、両親のどちらかが疾患型遺伝子を持っていると発症の可能性が高まり、メンデルの法則様に子孫に伝わるやつかいなのです。

この症状は輸送等のストレスによって筋肉組織が硬直、発熱、酸性化するもので、結果、筋肉の保水性が失われ「むれ肉」となり食肉に適さない状態になります。PSS豚はハロセン麻酔に反応することから「ハロセンテスト」によって正常豚を選抜する方法がとられてきましたが、PSS疾患型遺伝子を半分の確立で判定することはできず実用的ではありませんでした。また、PSS疾患型遺伝子を持つ豚は一般に余分な脂肪が少なく、赤肉割合が高いので種豚改良の過程において広く生き長らえてきたようです。

豚にはPSSと呼ばれる遺伝病があります。これは「豚ストレス症候群」と訳されますが、両親のどちらかが疾患型遺伝子を持っていると発症の可能性が高まり、メンデルの法則様に子孫に伝わるやつかいなのです。

豆知識 和牛の遺伝病

豚にはPSSと呼ばれる遺伝病があります。これは「豚ストレス症候群」と訳されますが、両親のどちらかが疾患型遺伝子を持っていると発症の可能性が高まり、メンデルの法則様に子孫に伝わるやつかいなのです。

この症状は輸送等のストレスによって筋肉組織が硬直、発熱、酸性化するもので、結果、筋肉の保水性が失われ「むれ肉」となり食肉に適さない状態になります。PSS豚はハロセン麻酔に反応することから「ハロセンテスト」によって正常豚を選抜する方法がとられてきましたが、PSS疾患型遺伝子を半分の確立で判定することはできず実用的ではありませんでした。また、PSS疾患型遺伝子を持つ豚は一般に余分な脂肪が少なく、赤肉割合が高いので種豚改良の過程において広く生き長らえてきたようです。

豚にはPSSと呼ばれる遺伝病があります。これは「豚ストレス症候群」と訳されますが、両親のどちらかが疾患型遺伝子を持っていると発症の可能性が高まり、メンデルの法則様に子孫に伝わるやつかいなのです。

この症状は輸送等のストレスによって筋肉組織が硬直、発熱、酸性化するもので、結果、筋肉の保水性が失われ「むれ肉」となり食肉に適さない状態になります。PSS豚はハロセン麻酔に反応することから「ハロセンテスト」によって正常豚を選抜する方法がとられてきましたが、PSS疾患型遺伝子を半分の確立で判定することはできず実用的ではありませんでした。また、PSS疾患型遺伝子を持つ豚は一般に余分な脂肪が少なく、赤肉割合が高いので種豚改良の過程において広く生き長らえてきたようです。

豚にはPSSと呼ばれる遺伝病があります。これは「豚ストレス症候群」と訳されますが、両親のどちらかが疾患型遺伝子を持っていると発症の可能性が高まり、メンデルの法則様に子孫に伝わるやつかいなのです。

豆知識 豚の遺伝病

畜産試験場研修生、視察者等受入状況(過去1ヶ年間)

海外技術交流研修生	1名 (10ヶ月)
農業大学校研修生	10名 (過年)
大学生短期研修生	1名 (7日)
小中高学生社会教育実習	52名 (3日)
教職経験者研修	15名 (1日)
さぬきっ子ふれあい体験	69名 (2回)
園児、小学生動物体験	300名 (3回)
家畜人工授精資格講習	13名 (30日)
畜産研究談話会	80名 (2回)
畜産関係者他	488名 (28回)
合計	1,029名 (延77回)



さぬきっ子ふれあい体験

種畜能力状況	種畜供給状況
母牛、産乳量 1品種	10頭
豚、直接検定 3品種	8頭
豚、産肉能力検定 6銘柄	豚(種状) 2,525本
飼料分析、検定状況	種畜等検査状況
自給飼料分析	443件
共通飼料分析	14件
飼料検定	8件
飼料物産試験	6草種 106品種
飼料物産試験	5草種 31系統

平成10年度 畜産試験場の諸活動

瀬戸内の温かな風土に育まれた「讃岐牛」。

讃岐牛

讃岐の人々の誇りであり、やわらかい食感を誇る。その牛肉としての品質、味の上で多くの人々に賞賛されています。

こくがあり、やわらかくておいしい。

讃岐豚

肉質のよいとされるバーゲン種との交配によって生まれた。高栄養な肉質を誇り、肉の味は「こくのあるおいしい豚肉」と評価されています。

ちよびりげたく、たっぷりおいしい。

讃岐コーチン

中国産のコーチンをもとにして、香りと食味がよく、肉質が柔らかい。心強い味に、肉質が柔らかく、肉のロースで健康維持に不可欠なビタミンE、リノール酸が多く含まれるヘルシーな鶏肉です。